小语种：一级阅读15 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E5_B0_8F_E8_AF_AD_E7_A7_8D_EF_c105_146559.htm 人生はたえざるのである——これはおそらく文句のつけようがない定だ。

「我、思う。故に我あり」を生活に置きえると、「我、する。故に我あり」ということだろう。（中略）代がことさらあらたまつての代とがれるのは、ニュ？メディアなどの入により生活の表面的肢がえたからではない。神と神妙な精神主に抵抗であったこれまでの「会社人」たちの世代が、だらしなくも、自らを下すことを忘れていたからだ。狼はするが、ヒツジの群れは、しない。いたん群れの一として致されると、これはこれでの境遇といつていい。羊いに管理され、番犬にかれるままにいていれば、生命の危はない。えることもない。でも、ヒツジにだって多少の自尊心はある。本当は完璧に管理され、判断を放し、の勇も持っていないのに、そうではない、と思いたい。となると、自らを暗示にかけるか、いわば「疑似」を行うことによって、かろうじての自己の存在明を求める以外ない。暗示は、と自らを一体化しようという心のきである。疑似はいくらでもできる。「右に曲がれ」という番犬の命令に逆らうふりをしてちょっと左へ走ってみるのがそれだ。他の仲より少し早く（あるいはく）走る自由がそれだ。あてがわれたのうち、これを食べ、あれは食べない、というもそれだ。しかし、にはこんな自由やにはたいした意味がない。あくまで主人が容した内での自由であり、であるのだから。

人生はである、といったが、本当をいうと生活において私たちに多く合、こののをさもおおげさにしているにぎない。ごっこ、といていい。たとえば、どの学校にへるか、どこへ就するか——ごっこの中でもこのは案外深刻なだが、もともと学、就というだれがめたか分からない人生コースをそのまま受け入れ、そのコース内でのであるから、どうころんでもたいしたいはない(どうころんでも自己を失わぬ、と言うだけ固な自己を持っていれば、のであるが)。また、休日に山へ行くか海へ行くか、あのにけるか、トヨタをうかニッサンをうか——このの大小数のに直面しながら私たちは日々を生きているわけだが、局のところはこれらはみんな()。をしむ、という程度の意味しかあるまい。今、ふりかえって、「をったとき」の切な思い出がひとつも浮かんでこないのは、私自身も「人の条件」を忘れたヒツジの群れの一として、にぶつくさ文句をいいながらも局は太平にこの世を生きてきたからにほかなるまい。()、人生はのである、という当初の定もあやしくなってきた。むしろ、ごっこのごあるといい直すべきか。やはりそうは思わない。たとえ、それが日常生活の中の小さなでも、それが何らかの形で自らめざす人生のにかかわってくるのであれば、そのひとつが真と思いたい。少なくとも自己とのにおいては、それだけをもって日を生きたい。々のはゆるがせにできぬが、その当否はすぐ朗かにはならない、日々の小さな集の支算がいつか徐々に表面化しはじめ、棺に入る直前になって人は「オレは然るべく生きた」あるいは「どうやらオレはをった」と初めて口にできるの

ではあるまいか、だから、まあ、とりあえずは小さなことでくよくよするな、ということにもなるのだが——. 1 「そうではない、と思いたい」とあるが、どう思いたいのか。 1 自分で判断できると思いたい 2 枝がえたと思いたい 3 生命の危がないと思いたい 4 えることがないと思いたい 2 「ごっこ、といていい」とあるが、それはどうしてか。 1 生活ではどうするかを判断を放しているから 2 生活ではどうしてもたいしたいはないから 3 生活ではどうするかをしんでいるから 4 生活ではどうしてもけっしてらないから 3 ()にはどんな文を入れるのが当か。 1 かがしてくれるものだ 2 しなくてもいいものだ 3 非常に重要なものだ 4 どうでもいいなのだ 4 「ヒツジの群れのー」とあるが、これはどういうことか。 1 多少の自尊心はあるということ 2 今まではをしてこなかったということ 3 生命の危もなく、えることもないこと 4 管理され、判断を放しているということ 5 ()に入れる言を次の中からびなさい。 1 となると 2 となっても 3 とみると 4 といえ 6 「やはりそうは思わない」とあるが、どう思わないのか。 1 人生はのであるとは思わない。 2 人生のをったとは思わない。 3 人生はごっこののであるとは思わない。 4 人生は数のに直面することだとは思わない。 7 「とりあえずは小さなことでくよくよするな」とあるが、者はなぜこのように思うのか。 1 の果は死ぬ直面までわからないのだから。 2 をえても、果は同じだから。 3 はあくまで容された内でのなのだから。 4 は本来びのようなものだから。 8 者は日々についてどのように考えているか。 1 重要ではないし、えてもたいし

たにはならないびのようなものである。 2 定的ではないかもしれないが、それらが集まって人生を形づくるのだから、真に行うべきだ。 3 の一つ一つが人生を左右する非常に重要なものだから、人と相して慎重に行うべきだ。 4 ある内でのなのだから、自分でしているように思っても、はそれはかに管理されているものだ。 1—1 2—2 3—4 4—4 5—1 6—3 7—1 8—2 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com